

平成4年6月23日

中山道すがもまつり

## 『すがも " 薪狂言 " 』開催

23日、「おばあちゃん原宿」として知られる豊島区巣鴨の地蔵通り(旧中山道)にある真性寺(巣鴨3-21-21 注・とげぬき地蔵「高岩寺」とは違います)にて『すがも " 薪狂言 " 』が行なわれた。

午後4時30分、空はあいにくの雨。しかし、何百年も引き継がれている日本伝統文化に見入る観客には今夜の雨は寒くはないようだった。

これは、地元商店街や町会が中心となり『巣鴨のまちおこし』のため昨年から毎年実施されている『中山道すがもまつり』として行なわれたもの。主催は、同まつり委員会。

「狂言」は、言葉と仕草から成る日本芸術の原点といわれている。日本の伝統芸能の中において唯一素顔で演じるものとして現代の感性をそのまま表現される優れた舞台芸術。しかしその価値評価は日本よりも海外でのほうが高いのは皮肉なものである。

今回の開催にあたっては、海外でも高い評価を得ている狂言の第一人者の和泉流宗家の快い協力のもとに実現された。現在の宗家は和泉元秀氏。今は亡きその御尊父、九世『三宅籐九郎(人間国宝・豊島区名誉区民)』は豊島区巣鴨に生まれ育ったことから、現宗家の元秀氏が「巣鴨に何か協力できれば」ということで、今回の薪狂言が行なわれた。

出演者の長女の和泉淳子さんは「日本初の女性狂言師」として、次女の祥子さんは十世「三宅籐九郎」として、長男元彌さんは二十代目宗家継承者として各方面で活躍中。

今回の宗家総出演に観客は、何百年も前から引き継がれている文化に魅了されていた。なお、「薪狂言」は、明日24日(水)も午後3時から行なわれます。

問合せ 中山道すがもまつり実行委員会事務局